

青い波北陽台

令和5年10月31日発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 大川 周一

晩秋に思う

校長 大川 周一

今年は10月になっても熱中症に警戒が必要な暑さに見舞われ、衣替えのタイミングが掴みにくい日々が続いたが、立冬が近づくとつれて朝晩は一気に冷え込み、爽やかな秋の深まりをそこかしこで感じられる。その一つが「月の雫」である。

早朝、車のフロントガラスに舞い降りた雫が、陽光を反射して虹色にキラキラと輝くことがある。ワイパーで吹き去るのはもったいない気がして、運転席に腰掛けては、しばしその光景を眺めながら四季の移ろいや一日の始まりに感謝する。

「月の雫」とは朝露のことで、明け方に空気が冷え、大気中の水蒸気が水滴となって草木の表面を覆う。朝露を“月がこぼしていった雫”とはよく表現したものである。昔の人々は、雨が降ったわけでもないのに葉を濡らす水滴の存在を不思議に感じていたであろうことが、万葉集や古今和歌集からも窺える。月が雲で隠れない夜は、放射冷却によって大気が冷え込み翌朝には透明な露が生まれるが、太陽が昇るとともに蒸発してなくなってしまふ。たぶん、月と露を結びつけて、美しくも儂い「月の雫」という言葉が生まれたのであろう。科学的な知識はなくとも、昔の人のセンスの良さには感服させられる。

もう一つは、夜空に輝く「星座」たちである。私の住む町は、都市部のような人工の灯が少ないので、肉眼でもさまざまな星を眺めることができる。特に、晩秋から冬にかけては、大気が澄み渡り空気も乾燥するため、光の透過率が高まり星々はひとときわ輝いて見える。また、これからの季節は、春や夏に比べて輝く一等星の数も増え、夜空は一段と賑やかさを増してくる。南東の空には、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンの三つの一等星を結んだ「冬の大三角」を肉眼で見ることができる。運がよければ、三角形の中を縦断する淡い天の川（円盤状の銀河系を横から見たもの）に出逢えることもある。

さて、今年度も残すところ5か月となった。今、3年生は、大学入試本番に向けて全身全霊を傾けていることと思う。放課後、ひたむきに机に向かう姿や職員室前の学習机で懸命に質問する姿を見ると、啐啄同時の言葉を思い出す。1、2年生は1か月後の2学期期末試験に向け、まずは苦手科目の克服、そして計画的な学習に根気強く取り組んでほしい。一人ひとりがこの夏に蓄えた力を大いに発揮し、実り多き秋になることを願う。

機会があれば、月の雫や美しい星空を眺め、勉強で疲れた目を癒してみてもどうか。



コスモスと朝露（撮影：大川 2022, 11）



出典：日本気象協会 web ページ [tenki.jp](https://tenki.jp/suppl/usagida/2021/02/18/30201.html)
<https://tenki.jp/suppl/usagida/2021/02/18/30201.html>

芸術鑑賞会

今年度の芸術鑑賞会は、令和5年10月12日（木）に本校体育館でダンス・パフォーマンスのステージを開催しました。演目はサクラ・カツミさんをリーダーとするプロのダンス・パフォーマンスチーム、「オリエンタル・リズム」による「SHU HA RI」（守・破・離）でした。このチームのステージの特徴は、ただ単にダンスを披露するだけではなく、色とりどりの芸術的で機敏に動く映像をバックにし、斬新な音楽に合わせながら舞を披露するというものでした。また、舞の中に武道の形を取り入れる等、強烈なパワーを感じるダンスの部分もありました。おそらく生徒たちは初めて触れるパフォーマンスで、興味深く熱心に見入っていたようです。また、後半では生徒6名と若手先生2名がステージに登壇し、映像に合わせたパフォーマンス披露するコーナーもあり、体育館内に大きな声援と笑いも溢れ、大変盛り上がりました。

ラストはリーダーのサクラ・カツミさんによるトークで、ご自身が何故ダンスをしているのか。また、何のために、誰のために踊っているのか等の話がありました。そこで強調されたのが「惻隠の情」という言葉でした。相手を思いやる心、愛する心、日本人の持つ美しい心を大切にしてほしいとのメッセージがあり、生徒はしっかりとその話に聞き入っていたようです。



生徒のお礼の言葉

2 学年総合的な探究の時間 中間発表

10月10日（火）、5時間目から7時間目の3時間を使い、2学年の普通科、総合的な探究の時間において中間発表を実施いたしました。生徒は7分野50班に分かれ、それぞれの班ごとに調べたことについて教室で発表しました。先日、フィールドワークで各施設に訪問したこともあり、そこでの気づきや学びを感じることで発表となりました。しかし、改善点も多くありました。2月に行われる本発表でより良い発表となるよう引き続き取り組んでまいります。



これからの長崎班の発表の様子



観光班の発表の様子

人生の達人セミナー

10月18日(水)、長崎ブリックホールにて『人生の達人セミナー』を実施しました。JAXA 国際宇宙探査センター長 筒井史哉氏【長崎北陽台高校4回生】を講師としてお招きし、『宇宙で仕事をするということ』と題して、とても興味深い講演をしていただきました。第1部では筒井氏のプレゼンテーション、第2部では本校若手教員3名と筒井氏の対談形式で講演が進みました。第1部の終わりには、生徒たちが積極的に質問する姿がたくさん見られ、予定の時間を大きく超えるほどの大盛況でした。第2部では、職業観や就職をテーマに対談をしていただき、若手教員の知らない一面を知ることができて、生徒たちにとって大変参考になる有意義な時間となりました。



大学の先生による特別講義

10月23日(月)に「大学の先生による特別講義」が行われました。この講義は、「大学における専門的な学問に触れることで学習意欲の喚起を図り、大学で学ぶことの意義を理解し、進路選択の一助とすること」を目的として行っているもので、本年度は長崎大学をはじめとし、九州大学や熊本大学、宮崎大学、長崎県立大学、長崎純心大学から先生をお招きし、1・2年生に対して講義をしていただきました。以下の20講座が開講され、生徒は希望する2講座を受講しました。

大学	学部・学科等	大学	学部・学科等
長崎大学	多文化社会学部	九州大学	工学部
	教育学部	熊本大学	法学部
	経済学部		文学部
	医学部医学科		理学部
	医学部保健学科	宮崎大学	農学部
	歯学部	長崎県立大学	看護栄養学部
	薬学部	長崎純心大学	文化コミュニケーション学科
	工学部		地域包括支援学科
	情報データ科学部		こども教育保育学科
	環境科学部		
水産学部			



長崎大学 情報データ科学部の先生による講義



長崎大学 薬学部の先生による講義

生徒にとっては難しい話も多くありましたが、大学の講義の雰囲気を知ったり、大学入学後の様子を聴いたり、大学卒業後の進路について情報を得たりと、有意義な時間を過ごせたかと思います。以下に、講義終了後の生徒の感想の一部を紹介します。

・もっと世界の様々な教育を知りたいなと思いました。教師を目指そうと改めて思えたので良かったです。(長崎大学教育学部)

・将来医療系の道に進みたいと思っていたので、看護師・理学療法士・作業療法士の三つの職業について知ることができ、とても有意義な時間になりました。医学科や薬学部などの人たちと一緒にチーム医療を大学生のうち体験できるのがいいなと思いました。(長崎大学医学部保健学科)

・いま自分が学んでいる物理とは全く異なる不思議な分野について知れた。難しいけど面白い話があったので自分でもっと調べてみたいと思った。(九州大学工学部量子物理工学科)

・入試科目から獣医学科で何を学ぶのかまで説明いただき、進路の想像が膨らみましたし、何よりこの学科に惹かれましたので進路が明確になり、勉強に対するモチベーションを上げることができました。(宮崎大学農学部)

・講義の中で古文書を読み解いていくうちに、点と点が繋がったような感じがしてとても感動しました。また、歴史について大学では暗記することはほとんどなく、考えることがメインだと聞いて面白そうだなと思いました。(熊本大学文学部)

・大学で学んだことを仕事に生かすだけでなく、自分の日常生活にも生かせることを学びました。社会福祉士や介護福祉士などは、これからの時代に不可欠な存在になり、需要が高まってくると思うので、そっちの道も少し考えてみようかなと思いました。(長崎純心大学地域包括支援学科)

今回の講義を通して、進路について検討するきっかけや、進路選択の際の新たな知見が得られていれば幸いです。

11月の主な行事予定

- 2日(木) 県高校総体駅伝競技、開校記念日
- 3日(金) 文化の日
- 4日(土) 1・2年生校外実力テスト、3年生オープン模試
- 5日(日) 2年生校外実力テスト
- 7日(火) 2年理数科中間発表会(午後)
- 9日(木) 生徒総会
- 11日(土)～12日(日) 3年生校外マーク模試
- 14日(火)～16日(木) 1年文理探究科研修旅行
- 17日(金) 2年修学旅行保護者説明会(17:30～自学教室)
- 18日(土) 3年生オープン模試
- 22日(水) 試験時間割発表
- 30日(木)～12月5日(火) 1・2年生2学期期末試験

「Good Loser (グッド ルーザー)」

1 学年主任 山口 貴明

先日の「人生の達人セミナー」では、本校卒業生の筒井史哉さんをお迎えして、貴重な講演をいただきました。宇宙の難しい話は、正直私もよくわからないこともあったのですが、後輩である皆さんにとって今後役に立つ話を織り交ぜていただいたように思います。

その中で私が印象に残ったことは、「苦手なこと（教科）に対して、自分なりに努力をしたこと」、そして「努力したことの成果はすぐには現れない」ということでした。筒井さんのような方でも苦手なものがあって、でも、それに対して逃げずに努力したこと、「負けず嫌い」であったことをお話しされていました。これらの話を聞いて、自分自身を振り返った時に、果たしてどうなのかと考えさせられます。多くの方が、うまくいかなくなった時にすぐに諦めたり、できなかったことの原因探しをしているように思います。誰でも成功したいと考え、できれば失敗したくないと考えるものでしょう。でも、物事はそんなに簡単には運ぶことはありません。

部活動の関係で、スポーツマンシップについての講義を受ける機会がありました。その中にあった印象的な言葉を生徒の皆さんにも考えてもらいたいと思います。

「Good Loser (グッド ルーザー)」。つまり「よき敗者であれ」というものです。勝負に相手がいる限り、必ず勝者と敗者がいる、そしてほんの一部の人を除けば、ほとんどの人がいつかは必ず「敗者」になるということです。敗れた時に、どのようにあるべきなのか。講演では3つのことに触れていました。

一つ目が「他人のせいにしたり、言い訳したりしない」ということです。うまくいかなかったことを自分自身ではなく、人のせいにしたり、環境のせいにしたりしていないか。二つ目は「負けを認め、勝者を称えられる」です。成功している人に対して、嫉妬したり悪口を言ったりしていないか。最後に「敗因を考え、再び努力できる」というものです。失敗したことを恥じ、チャレンジしたことを悔いたり、すぐに諦めたりしていないか。

負けは精神的に堪えます。努力してきた結果ならなおさらでしょう。大人でも同じです。しかし、人生はまだまだ続きます。数回失敗したぐらいで諦めず、生きている限り努力し続けること。難しいことですが、踏ん張って、我慢して、再び歩みを始めること。そうすれば、みんな成長していけるはずですよ。「グッド ルーザー」を目指してみませんか？

○新課程の入試情報を把握しましょう。

みなさんが大学入試を受験する 2025 年度入試は、とくに「大学入学共通テスト」について変更点が多くあります。その変更点を抜粋してみます。

「国語」	試験時間 80 分→90 分に 近代以降の文章は 3 題で 110 点、古典は 2 題で 90 点
「地歴・公民」	6 科目の中から選択するが、2 科目以上受験するときは注意が必要
「数学」	数②の試験時間が 60 分→70 分に 選択問題が 4 題中 3 題解答に
「情報 I」	新設 試験時間 60 分

また、各大学の数学の選択する単元の違いや、新設される情報の配点の扱いなど、受験する大学に応じた対策が必要となります。

これらの新課程の入試情報は、学校でも紹介しますが、重要なのは自分で関心をもち自ら情報収集することです。1 年後、5 年後、10 年後の自分を想像し、今何をやるべきか考えましょう。

○海外修学旅行について

今後のスケジュールをあげています。

10 月 31 日まで	パスポートの web 登録
11 月 1 日まで	健康、アレルギー調査
11 月中旬	活動班、部屋割り決め
11 月 17 日	保護者説明会（外貨両替、保険、渡航手続き等について説明）
12 月の LHR	事前指導（自主研修の計画作成など）
1 月 12 日	A 団 結団式+SG カード登録（シンガポール入国手続き）
1 月 14 日～18 日	A 団修学旅行 ※19 日（金）A 団代休
1 月 19 日	B 団 結団式+SG カード登録（シンガポール入国手続き）
1 月 21 日～24 日	B 団修学旅行 ※25 日（金）B 団代休



100日前集会

3学年団

10月6日（火）に、共通テストまで100日を切ったことを受け、100日前集会が行われました。講師にベネッセコーポレーション顧問である田川祐治先生をお迎えし、共通テスト前の留意点や受験への心構えについて熱い言葉をいただきました。田川先生の叱咤激励に心を打たれ涙を流した生徒もおり、受験に向けてより一層士気が高まったように思われます。今後も、生徒たちが描く目標を実現できるよう、職員一丸となって指導・支援してまいります。3学年保護者の皆様におかれましては、ご家庭での学習や体調管理など、奨励をどうぞよろしくお願いいたします。

〈生徒の感想文より〉

・心のどこかで、勉強したとしてもどうせ点数なんて上がらない、意味がない、頑張るだけ無駄、やっているのに点数が取れないなんて情けないし、恥ずかしいと思ってしまっています。しかし、今日の講演を通してそんなことはどうでもよくて、恥ずかしいも何もなく、ただ諦めず、めげず、強い気持ちを持つことが大事なんだと、絶対に受かってやるという覚悟が必要なんだと気付くことができました。

・夏休みに毎日10時間以上も勉強したのに、9月のマークで夏前から全く伸びておらず、悩んでいて、志望校を変えるべきなのかもしれないと思っていました。だけど、今日の講演を聞き、10月以降や、共通テスト前、前期・後期入試前に伸びた人がいると言っていて、自分もまだ努力をし続ければ、可能性は0ではないと思えました。「第一志望校に絶対合格する」という強い執念をもち、頑張ります。

がんばれ北陽台43回生！！

